



# 元氣

Ikeda Genki

辛い経験を繰り返さない  
自身の名前を冠にスタート

——一度聞いたら忘れられない社名ですが、その意図は何でしょうか。



私は2代目の経営者となるのですが、代替わりの際に「あなたの名前を付けなさい」との先

代の一声で半ば強引に決まってしまったのが、「元気な介護」という社名です。私としては、事業所の冠にもしている「くらしさ（暮らし）『支える』『らしさ』を合わせた造語」を社名にしたかったこともあり、当初は嫌で嫌で仕方ありませんでした（笑）。でも今ではありがたみを感じています。

ももとは経理担当として入社したのですが、1年間は介護の現場に配属されました。右も左もわからないまま排泄ケアや食事介助等の直接介護はもちろん、トイレ掃除も行う毎日でした。話が違うじゃないかとは思いつつも、人からダイレクトに喜んでもらえる介護の仕事そのものに大きな魅力を感じました。しかし、いつもつきまわっていたのは、この先ずっと働き続けられるのか、給料や待遇は良くなるのかといった不安でした。当時30歳の私は、こんな状況では結婚すらできないと絶望的な気持ちになることもありました。そのときの辛かった経験から、いつかは人材教育体制やキャリアパス、働く環境整備といった仕

組みを構築したいという決意が生まれました。そのためには一貫した理念が不可欠であると感じ、社長就任と同時に理念と行動指針を掲げることにしました。

——行動指針には、「女優・役者になる」「臭いものにふたを閉めるな」「陰口をやめて『陰褒め』をしよう」といった、ユニークなフレーズが並んでいます。

これは、経営陣が参加せずに管理者らが理念をもとに話し合っただけでつくったものではないです。理念や行動指針は、全従業員で理想の実現に向かって取り組むうえで大切なものです。入社当時の私がよく耳にしたのは、「介護の仕事はどこで働いても変わらない」というセリフ。入社一週間で退職するケースや業界内を転々とする人が多い傾向にあるなか、弊社ではそんなセリフを絶対聞きたくありません。こうした思いを従業員一人ひとりに浸透させるため「理念浸透プロジェクト」と題し、地域ごとに30人ほど担当メンバーを定めて取り組みを推進しています。行動指針のいずれかにフォーカスして毎日の朝礼時に唱和するとか、毎月重点的に一つの行動指針に取り組むなど、中身はそれぞれに任せています。

研修の充実はもちろん、私との面談も重視しています。会社を良くするには、現場の課題を解決することが何より先決です。全従業員とはできる限り対面して、考えや悩みなどを聞き取りたいと思っています。

# 理念経営を初志貫徹 存在価値を高めて 日本を元気にする介護の実現へ

## Top Interview

株式会社元気な介護 代表取締役

1977年生まれ。北海道岩見沢市出身。オートバイの総合商社にて経理・財務を担当。会計事務所でのコンサルティング業務経験を経て、2009年元気な介護の前身である株式会社アイケア北海道へ入社。2012年、同社代表取締役役に就任。2013年、株式会社元気な介護へ社名変更。一般社団法人介護事業者連盟北海道支部支部長

# 池田

「少しづつ離職率は低くなっていますし、外国人人材が組織に良い影響を与えてくれており、今のところ人材確保はうまくいっている状況です。ゆくゆくは一般企業のように採用試験を実施するなど、「入りたくてもなかなか入れない会社」として存在価値を高めることが目標です。

### 積極的にM&Aも推進 創業20年を迎え上場も視野に

「事業所数は、7都道府県に160カ所超と拡大を続けています。M&Aにも積極的に取り組んでいますね。」



M&Aにおいては、先方が掲げる理念に共感できることが円滑に運ぶポイントであると感じています。何らかの問題を抱えていたとしても、そんなときこそ理念の理解を広めることに意味があると思います。

弊社の方針として、M&A先の責任者には引き続き現場のマネジメントを担ってもらうようにしています。従業員の皆さんが少しでも働きやすくなったと感じてもらえるよう、ここでも各責任者との面談の機会を重視し、ご縁を大切につないでいけるよう努めています。

一方で、もちろん利益も追求するため、数字を開示しながら全従業員に経営に携わってもらえるような働きかけも欠かせませ

せん。介護保険事業はどうしても上限が決まっていますから、事業を拡大してスケールメリットを生み出していかなければ、従業員の処遇改善は見込めないのが実情です。M&Aは、おかげさまで方々からお声がをいただく機会があるため、これからも積極的に展開していきたいです。

「今年には創業20周年の年でもあります。展望を教えてください。」

グループとしては、長年の目標である株式上場を1、2年のうちに実現したいと考えています。並行してサービスの質向上も追求し、介護職のみならず事務部門においてもそれを徹底して求めるようにしています。事務職でも現場を経験してもらうとともに、認知症介護基礎研修は全従業員が受講しています。現場の大変さを知っていると、書類一つひとつの重みも変わってくるのではないのでしょうか。

これからも人を大事に、「介護を通じて、日本を元気に！」のキャッチフレーズの具現化をめざしていきます。

(写真/津田明生)

### 株式会社元気な介護

2004年3月設立。グループホームやサービス付き高齢者向け住宅、小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーションなど、北海道をはじめ宮城県や東京都、大阪府など全16カ所の事業所を運営

●北海道札幌市北区北20西4・2・15

☎011・708・3000

🌐genkinakaigo.co.jp/